

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 15 期 だい 1 年 だい 3 かい だい 1 にち)
ぎじろく
議事録

1 日時 2024 (令和6) 年 10 月 13 日 (日) 午後 2 時 00 分 ~ 5 時 00 分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 24 人

アディダヤ ヨザ、イトウ ユリカ キヤレン、鎌田 ファチマ、ギーゼツケ
フロリアン、金 寿瑛、単 望舒、鄭 載勳、スリニヴァサン スチエタ、
スン チン グアン、セネ アイサトウ チンボ、ダオ テイ ハーイ ハン、
張 遙、ヒラノ ジョイミ、ヒリス Tob Gabriela、ブー ホン アン、
プストフスキー アナスタシア、古谷 史子、ボカレル ナラヤン、ボソ
ミゲル アンヘル、ボラニス キ ビョートル、楊 子宜、ラハマン ジアウル、
李 詞、ルイス ジェームス

(2) 事務局

菅原 課長、三田村 課長補佐、松長根 課長補佐、緒方 職員、堤 職員、
高橋 専門調査員

4 傍聴者 4 人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

セネ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2024年度第3回第1日を開催する。今日は、ウイさん、朴さんの2名が欠席だ。まずは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局三田村課長補佐が説明)

セネ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

セネ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは議事に入る。まずは、2024年度の年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局緒方職員が資料2に基づき説明)

セネ委員長「何か質問はあるか。」

プストフスキー委員「私たちが確認をするのは今年度の内容だけでよいか。」

事務局緒方職員「今年度の年次報告書だけでよい。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。(なし)では、年次報告書の作成について、案のとおり、事務局が原案をつくり、代表者が内容を確認するかたちで作成することに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)案のとおり決定した。次は、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3、3-1に基づき説明)

セネ委員長「続いて、実行委員会の報告を副委員長からお願する。」

スリニヴァサン副委員長「実行委員会では、主に共通テーマの扱い方とグループのわけ方について話し合った。司会については、実行委員会からはプストフスキーさん、単さん、ボソさんの3人の希望があった。」

セネ委員長「何か質問はあるか。」

プストフスキー委員「テーマについてだが、グループごとに6つのテーマからいくつか選ぶというのは、その場で集まったみなさんと選ぶ感じか。」

事務局高橋専門調査員「グループごとに、グループの中で集まった方たちに決めてもらうというかたちを想定している。」

プストフスキー委員「そうすると、もしかしたら選ばれないテーマが出てくる可能性があるということか。」

事務局高橋専門調査員「そうだ。この案では、あくまでも参加者が話し合いたいことを話してもらうというところがポイントだ。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、順番に決めていきたい。ま

ず、共通テーマの扱い方と代表者のグループのわけ方について、案のほかに提案はあるか。（なし）では、3つの案について決をとる。案1に賛成の人は手を挙げてください。（0人）案2に賛成の人は手を挙げてください。

（11人）案3に賛成の人は手を挙げてください。（13人）それでは、案3の部会ごとのテーマにするということで決まった。次に、2名の司会について決めたい。実行委員会の中では、プストフスキーさん、単さん、ボソさんから希望があったとのことだが、ほかに希望者はいるか。（なし）それでは、3人に順番にスピーチをしてもらって、多数決で決めたい。」

プストフスキー委員「私は2年前にオープン会議に参加したことがあり、司会のやり方や内容もイメージもできたので、自信を持ってできると思う。」

ボソ委員「私はできるだけ会議がスムーズに進むように協力できればと思っている。」

単委員「私は臨時会実行委員会のメンバーとして、責任を持ってもっとオープン会議に貢献したいと思っている。もちろん、選ばれなくても全力でやる。」

セネ委員長「では、1人2回、手を挙げてもらって多数決で決める。プストフスキーさんに賛成の人は手を挙げてください。（21人）ボソさんに賛成の人は手を挙げてください。（8人）単さんに賛成の人は手を挙げてください。（19人）では、司会はプストフスキーさんと単さんに決まった。次に、コメンテーターについてだ。何か質問や意見はあるか。」

スン委員「2人呼ぶ場合、それぞれのグループに少しずつ入る感じか。それとも、まとめだけ聞いてコメントする感じか。」

事務局高橋専門調査員「まず、入るという部分についてだが、一緒にディスカッションに参加することはない。近くでディスカッションの様子を聴くことになると思う。特定のグループに入ることではなく、いろいろなグループを回って、全体についてのコメントをもらうかたちになると思う。」

プストフスキー委員「コメンテーターは、何か国際的な知見がある人を呼ぶイメージか。」

事務局高橋専門調査員「国際的というよりは、いわゆる多文化共生を専門とする方になると思う。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、コメンテーターについて、

ひとり呼ぶのに賛成の人は手を挙げてください。（ 5人 ） 2人呼ぶのに賛成の人は手を挙げてください。（ 18人 ） 呼ばないという人は手を挙げてください。（ 1人 ） では、2人呼ぶことに決定した。続いて、コメンテーターの人選についてだが、案のとおり事務局に任せるということで賛成の人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ） 案のとおりに決まったので、事務局は人選をお願いする。続いて、交流会についてだが、交流会をやることに賛成の人は手を挙げてください。（ 23人 ） 交流会をやらないに賛成の人は手を挙げてください。（ 1人 ） 交流会はやることに決定した。では、次の議事に移る。次は部会の設置についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

セネ委員長「何か質問はあるか。」

ルイス委員「部会長の活動は、12月15日の臨時会だけか。」

事務局高橋専門調査員「第15期が終わるまでだ。」

スン委員「夫婦別姓問題のテーマ名の変更についてだが、夫婦別姓と親子の問題としたらどうか。」

セネ委員長「事務局から何かあるか。」

事務局高橋専門調査員「最終的にはみなさんが決めることだが、たとえば前回の議論では通称名のことも出ていた。そうすると、必ずしも親子の問題だけではないかもしれない。これから審議していくので、最初から親子の問題に限定しない方がよいかもしれない。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（ なし ） では、順番に決めていく。まず、テーマのわけ方について意見がある人はいるか。（ なし ） では、案1に賛成の人は手を挙げてください。（ 11人 ） 案2に賛成の人は手を挙げてください。（ 13人 ） では、部会の審議テーマのわけ方は案2で決定した。次に、テーマ名の変更について、何か意見はあるか。（ なし ） では、案のとおり賛成の人は手を挙げてください。（ 23人 ） では、夫婦別姓問題から夫婦別姓に変更が決定した。それでは、自分が入りたい部会を順番に教えてください。（ 希望を確認 ） 人数のバランスも問題なさそうなので、参加する部会が決定した。最後に、部会長と副部会長の選出方法について決めたい。案のとおり賛成の人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ） それでは、このあとは部会審議だ。15時10分から部会を始められるように移動をお願い

いする。全^{ぜん}体^{たい}会^{かい}の再^{さい}開^{かい}は16時30分^{じぶん}だ。」

【部^ぶ会^{かい}A】

事務局^{じむきょく}緒^お方^{がた}職^{しょく}員^{いん}「それでは、部^ぶ会^{かい}を始^はめる。ま^まずは、今^{きょう}日^{にち}の流^{なが}れについ^て説^{せつ}明^{めい}する。

(資^し料^{りょう}5に基^{もと}づき説^{せつ}明^{めい}) では、ま^まずは部^ぶ会^{かい}長^{ちやう}と副^{ふく}部^ぶ会^{かい}長^{ちやう}の選^{せん}出^{しゅつ}をす^する。
あ^あら^あた^あめ^あて役^{やく}割^{わり}と選^{せん}出^{しゅつ}方^{ほう}法^{ほう}につい^て説^{せつ}明^{めい}する。(資^し料^{りょう}4に基^{もと}づき説^{せつ}明^{めい}) 何^{なに}
か質^{しつ}問^{もん}はあ^あるか。(なし) では、部^ぶ会^{かい}長^{ちやう}に立^{りつ}候^{こう}補^ほした^{した}い人^{ひと}は手^てを挙^あげ^あて
く^くだ^ださ^さい。(なし) では、推^{すい}薦^{せん}した^{した}い人^{ひと}は手^てを挙^あげ^あてく^くだ^ださ^さい。
(挙^{きよ}手^{しゅ}) 」

推^{すい}薦^{せん} ー アデ^あィ^でダ^だヤ^や委^い員^{いん} (→承^{しょう}諾^{だく})
ギ^ぎー^ーゼ^ぜツ^っケ^け委^い員^{いん} (→辞^じ退^{たい})
鄭^{じょん}委^い員^{いん} (→承^{しょう}諾^{だく})
ル^るイ^いス^す委^い員^{いん} (→辞^じ退^{たい})

事務局^{じむきょく}緒^お方^{がた}職^{しょく}員^{いん}「それでは、2人^{ふたり}には1分^{ぶん}くら^らいのス^すピ^ぴー^ーチ^ちをお^お願^ねい^いした^{した}い。」

鄭^{じょん}委^い員^{いん}「推^{すい}薦^{せん}いた^{いた}だ^だきあ^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます。何^{なに}か力^{ちから}にな^なれ^れば^ばと^と思^{おも}う^うのでよ^よろ^ろし
くお^お願^ねい^いし^しま^ます。」

アデ^あィ^でダ^だヤ^や委^い員^{いん}「推^{すい}薦^{せん}して^{して}いた^{いた}だ^だきあ^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます。私^{わたし}も何^{なに}か役^{やく}に立^たつこ^こと
が^があ^あれ^れば^ばと^と思^{おも}う。」

<投^{とう}票^{ひょう}>

アデ^あィ^でダ^だヤ^や委^い員^{いん} (→7人^{にん})
鄭^{じょん}委^い員^{いん} (→5人^{にん})

事務局^{じむきょく}緒^お方^{がた}職^{しょく}員^{いん}「投^{とう}票^{ひょう}の結^{けつ}果^か、部^ぶ会^{かい}長^{ちやう}はアデ^あィ^でダ^だヤ^やさん^{さん}に決^{けつ}定^{てい}した。続^{つづ}いて、
副^{ふく}部^ぶ会^{かい}長^{ちやう}につい^て決^きめ^めた^たい。立^{りつ}候^{こう}補^ほした^{した}い人^{ひと}は手^てを挙^あげ^あてく^くだ^ださ^さい。(な
し) 推^{すい}薦^{せん}した^{した}い人^{ひと}は手^てを挙^あげ^あてく^くだ^ださ^さい。(挙^{きよ}手^{しゅ}) 」

推^{すい}薦^{せん} ー 鄭^{じょん}委^い員^{いん} (→承^{しょう}諾^{だく})
ダ^だオ^お委^い員^{いん} (→辞^じ退^{たい})
ル^るイ^いス^す委^い員^{いん} (→辞^じ退^{たい})

事務局緒方職員「では、候補者は1人だけだが、スピーチをお願いする。」

鄭委員「推薦ありがとうございます。部会長の力になれるようにがんばるので、よろしくをお願いします。」

事務局緒方職員「では、鄭さんが副部長で賛成という人は手を挙げてください。

(1 1 人) それでは、副部長は鄭さんに決定した。それでは、部長、副部長からあいさつをお願いします。」

アディダヤ部長「経験もなく、これから勉強していくことになると思うが、力になればと思うのでよろしくお願いします。」

鄭委員「アディダヤさんの力になれるよう、一生懸命がんばるのでよろしくお願いします。」

事務局緒方職員「ここからの進行は部長にお願いする。部長と打ち合わせをするので、5分の休憩とする。」

(休憩)

アディダヤ部長「それでは、部会を再開する。まずは、事務局から説明をお願いします。」

(事務局緒方職員が資料5に基づき説明)

アディダヤ部長「まずは、部会の名前について決めたいが、何か質問はあるか。」

セネ委員長「もう1つの部会と同じ名前になったらどうするか。」

事務局三田村課長補佐「調整することになると思う。ただ、まずはこちらの部会のテーマにふさわしい名前を決めればよいと思う。」

アディダヤ部長「ほかに何かあるか。(なし) では、名前の候補について意見はあるか。」

スリニヴァサン副委員長「テーマとしては、情報発信、子育て・教育、社会問題の3つがあるので、情報・教育・社会はどうか。それか、長くなるなら社会生活はどうか。」

ルイス委員「国際コミュニティはどうか。」

鄭委員「情報発信・周知と子育て・教育、夫婦別姓は家族の話になるので、情報・家族はどうか。」

ラハマン委員「頭文字をとって。情・子・夫はどうか。」

ギーゼッケ委員「新聞などに載る際に説明がつかないのであれば、日本人が読んでわかる、イメージできるものがよいのではないか。」

ルイス委員「先ほどのをやめて安心国際コミュニティはどうか。」

ヒラノ委員「シンブルに情報社会はどうか。」

アディダヤ部会長「国際コミュニティを省略して国際コミはどうか。」

事務局緒方職員「情・子・夫と国際コミは、意味が伝わらない可能性が高い。」

セネ委員長「外国人市民生活はどうか。」

ギーゼツケ委員「川崎社会はどうか。」

事務局緒方職員「かなり候補が増えてきたので、1人2回まで手を挙げてもらって、

それで、上位2つで決選投票というのはどうか。（異議なし）」

スン委員「国際生活化も追加して欲しい。」

アディダヤ部会長「それでは決を採りたい。1人2回まで手を挙げてください。」

社会生活・・・3人

国際社会・・・5人

情報・家族・・・3人

情・子・夫・・・0人

安心国際コミュニティ・・・0人

情報社会・・・2人

国際コミ・・・0人

外国人市民生活・・・2人

川崎社会・・・2人

国際生活化・・・2人

セネ委員長「国際社会は日本語の表現として問題ないか。国内のことではない印象を受けるが。」

スリニヴァサン副委員長「国際を多文化社会にしたらどうか。」

アディダヤ部会長「考え方としては、読んだ人がわかりやすいものということでしょうか。」

事務局緒方職員「そうだ。時間が押しているので、今日はここまでとして次回、上位

の3つの中から決定するということにしたらどうか。今日は、国際社会を

多文化社会に変更するかどうかだけ決をとったらどうか。（異議なし）」

アディダヤ部会長「それでは、国際社会を多文化社会に変更することに賛成の人は

手を挙げてください。（8人）変更しない方がよいと思う人は手を挙げて

ください。（ 0人 ）それでは、国際社会は多文化社会に変更することとする。部会の名前については、次回、上位の3つの候補の中から決めることにする。続いて、審議計画についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局緒方職員が資料5に基づき説明）

アディダヤ部会長「何か質問や意見はあるか。（ なし ）それでは、1人2回まで手を挙げてもらい、多い順に審議したいと思う。まず、情報発信・周知がよいという人は手を挙げてください。（ 10人 ）次に、子育て・教育がよいという人は手を挙げてください。（ 10人 ）最後に、夫婦別姓がよいという人は手を挙げてください。（ 4人 ）「情報発信・周知」と「子育て・教育」が同数になってしまったので、1人1回にしてもう一度決をとる。情報発信・周知がよいという人は手を挙げてください。（ 8人 ）子育て・教育がよいという人は手を挙げてください。（ 4人 ）それでは、審議する順番は情報発信・周知、子育て・教育、夫婦別姓に決まった。続いて、次回の審議に必要な資料のリクエストについて事務局から説明をお願いする。」

（事務局緒方職員が資料5に基づき説明）

アディダヤ部会長「何か質問はあるか。（ なし ）では、次回の審議テーマである「情報発信・周知」について何を議論したいのか、関心を教えてください。」

セネ委員長「まだ具体的なイメージができていないので、どういう資料が必要かというよりは、どういう話をしていきたいかということから考えた方がよいと思う。」

アディダヤ部会長「私から1つよいか。情報がまとまっておらず、ばらばらということがあると思うので、川崎市でどのような情報発信をしているのかデータがあるとよい。」

ブー委員「川崎の情報を発信するために使っているツールを知りたい。」

鄭委員「川崎市で情報を翻訳するときの言語の基準のようなものがあれば知りたい。」

アディダヤ部会長「国際交流協会のハローかわさきのインドネシア語の翻訳をするのだが、その情報が役に立っているのか、どんな情報が必要なのか、アンケートをとることは可能か。」

事務局三田村課長補佐「それは国際交流協会が出しているものだ。」

アディダヤ部会長「ハローかわさきでなくてもよい。市が発信している情報に対す

る読者の意見が知りたい。」

ギーゼック委員「転入してきたときに、住民登録の際に最初にもらうセットを準備してもらえるか。」

鄭委員「川崎市のホームページでは、Googleアナリティクスのようなツールを使っているか。言語ごとの利用状況がわかれば知りたい。」

アディダヤ部会長「時間を過ぎていたので、これで部会を終わりにする。全体会の再開は16時30分だ。遅れないようにお願いします。」

【部会B】

事務局高橋専門調査員「それでは、部会を始める。先ほど全体会で決めたように、部会長と副部会長が決まるまでは私が仮議長として進行させていただく。まずは、今日の流れについて説明する。（資料5に基づき説明）次に、部会長、副部会長の役割と選出方法について確認しておきたい。（資料4に基づき説明）それでは、部会長の選出から始める。まずは、立候補したい人は手を挙げてください。（挙手）次に、推薦したい人は手を挙げてください。（なし）」

立候補 — 単委員

事務局高橋専門調査員「それでは、候補が1人ということなので、多数決で決めたい。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）続いて、副部会長の選出をしたい。立候補したい人は手を挙げてください。（挙手）次に、推薦したい人は手を挙げてください。（なし）」

立候補 — 金委員

事務局高橋専門調査員「それでは、候補が1人ということなので、多数決で決めたい。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）それでは、部会長と副部会長が決まったので、それぞれあいさつのスピーチをお願いしたい。まずは、部会長からお願いします。」

単部会長「みなさん、投票していただいて本当にありがとうございます。私が提案した医療と防災も審議テーマに選ばれて嬉しいが、部会長としてよりよい

提案^{ていあん}ができるように、みなさんと一緒^{いっしょ}にがんばってチャレンジ^{ちゃれんじ}したい。たとえば、防災^{ぼうさい}では既存^{きぞん}の取組^{とりくみ}や活動^{かつどう}が活用^{かつよう}できていない部分^{ぶぶん}があると思う^{おも}。医療^{いりよう}でもM I Cかながわという通訳ボランティア^{つうやくボランティア}の制度はもう少し充実^{すこじゅうじつ}できるのではないかと思っている。問診票^{もんしんひょう}の多言語化^{たげんごか}についてもみなさんと一緒^{いっしょ}に議論^{ぎろん}したい。もちろん、共生コミュニティ^{きょうせいこみゅにてい}の形成^{けいせい}についてもみなさんの意見^{いけん}を取りまとめられるよう全力^{ぜんりょく}でサポート^{さぽーと}したい。」

金委員^{きんわいいん}「最初^{さいしょ}、この会議^{かいぎ}に入ったときは、たとえば差別^{さべつ}をなくしたいとか、そういうことを考えていた。それももちろん大事^{だいじ}なのだが、みなさんと話^{はな}したりするなかで、もっと手前^{てまえ}の暮らし^{くらし}、今日^{きょう}、明日^{あす}の暮らし^{くらし}のことについてもっと話^{はな}し合うべきだなということを感じ^{かん}ている。たとえば、防災^{ぼうさい}は非常時^{ひじょうじ}のことかもしれないが、日頃^{ひごろ}の対策^{たいさく}とかがすごく大事^{だいじ}だと思っている。医療^{いりよう}、共生コミュニティ^{きょうせいこみゅにてい}についても毎日^{まいにち}の積み重ね^{かさ}ではないが、生きる上^{うへ}で必要なことだと思っている。私^{わたし}は平日^{へいじつ}にうまく時間^{じかん}がつかれるかわからなくて部会長^{ぶかいちょう}にはならなかったが、少しでも力^{ちから}になればいいと思い、副部会長^{ふくぶかいちょう}としてやらせていただくので、よろしくお願^{ねが}いします。」

事務局高橋専門調査員^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}「それでは部会長^{ぶかいちょう}、副部会長^{ふくぶかいちょう}が決^きまったので、このあとの進行^{しんこう}は部会長^{ぶかいちょう}にお願^{ねが}いする。部会長^{ぶかいちょう}と打ちあわせをするので、5分^{ぶん}ほど休憩^{きゅうけい}とする。30分^{ぶん}から再開^{さいかい}としたい。」

(休憩^{きゅうけい})

単部会長^{たんぶかいちょう}「時間^{じかん}になったので再開^{さいかい}したい。まずは、部会^{ぶかい}の名称^{めいしょう}を決^きめたい。事務局^{じむきょく}から説明^{せつめい}をお願^{ねが}いする。」

(事務局高橋専門調査員^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}が資料^{しりょう}5に基^{もと}づき説明^{せつめい})

単部会長^{たんぶかいちょう}「何か質問^{しつもん}や意見^{いけん}はあるか。」

金委員^{きんわいいん}「防災^{ぼうさい}・災害^{さいがい}、医療^{いりよう}、共生コミュニティ^{きょうせいこみゅにてい}形成^{けいせい}をくっつけたら長^{なが}過ぎるか。やはり短^{みじか}くしないといけないか。」

ヒリストバ委員^{ひりすとばいん}「こちらの部会^{ぶかい}は生活^{せいかつ}に関^{かか}わるテーマだから、安心生活部会^{あんしんせいかつぶかい}にしたらどうか。」

イトウ委員^{いとわいいん}「審議^{しんぎ}を進^{すす}めていく中^{なか}で見えてくるワードもあるような気がする。あえて今日^{きょう}、決^きめなくてもよいのではないかと思う。」

張委員^{ちやういん}「安心^{あんしん}・暮らし^{くらし}はどうか。」

ヒリストバ委員^{ひりすとばいん}「審議^{しんぎ}していく中^{なか}で、途中^{とちゅう}で変更^{へんこう}することは可能^{かのう}か。」

事務局高橋専門調査員^{じむきょくたかはしせんもんちようさいん}「基本的^{きほんてき}には変更^{へんこう}なしでお願い^{ねが}したい。」

ボソ委員「もし、今日決めるのであれば、少し審議した上で最後の方に決めてもよいかもしれない。」

単部会長「事務局からの説明にもあったが、今日、必ず決める必要がないのであれば何かアイデアを考えてきて、次回決めるというのはどうか。」

ボソ委員「そうすると、次回また時間をとられることになる。」

事務局高橋専門調査員「次回からは審議テーマについて1つずつ審議していくので、もし次回決めるのであれば審議時間が短くなる。どうするか決めるのはみなさんだが、もし、今日決められるのなら決めた方がよいと思う。」

楊委員「私もヒリストバさんが提案した安心生活がよいと思う。」

金委員「暮らしの安心はどうか。」

単部会長「ほかにあるか。（なし）それでは、まずは今日決めるかどうかを決めをとる。今日、決める場合にはこの3つから選ぶことにする。まず、今日決めたいという人は手を挙げてください。（8人）次回に決めたいという人は手を挙げてください。（4人）それでは、今日、決めることになったので、3つのなかから選んで欲しい。」

安心・暮らし・・・4人

安心生活・・・6人

暮らしの安心・・・0人

事務局高橋専門調査員「手を挙げていない人が2人いるがよいかな。」

李委員「今日、決まる方がよいかなと思っているが決められない。」

ボソ委員「もう1つ候補を挙げてよいかな。安全・暮らしはどうか。」

ボラニキス委員「確認だが、この名前はどこに載せるのか。内部だけの話か。」

事務局高橋専門調査員「年次報告書にも、ホームページにも出るし、新聞などにも載るかもしれない。内部というよりは、外向けにたくさん出る。」

鎌田委員「13期、14期のときは、安心生活という名前でどのようなテーマを扱ったのか。」

ボソ委員「13期のときには、医療、教育と防災について審議した記憶がある。」

金委員「14期は、産前産後支援、メンタルヘルスケア、ひとり親支援のようだ。」

単部会長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、4つの候補からもう一度選んでもらう。」

あんしん・暮らし・・・4人

あんしんせいかつ・・・7人

暮らしのあんしん・・・0人

あんぜん・暮らし・・・1人

単部会長「それでは、部会の名称は安心して生活に決まった。次は、審議計画についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明)

単部会長「何か質問や意見はあるか。(なし)では、順番に聞いていく。まず、防災・災害を優先的に審議したい人は手を挙げてください。(11人)次に、医療を優先的に審議したい人は手を挙げてください。(3人)最後に、共生コミュニティの形成を優先的に審議したい人は手を挙げてください。(10人)では、防災・災害、共生コミュニティの形成、医療の順番で審議していくこととする。それでは、審議計画が決まったので、次の審議に必要な資料のリクエストについて事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明)

単部会長「何か質問はあるか。(なし)それでは、資料のリクエストがある人は手を挙げてください。」

イトウ委員「資料があるかわからないが、地域の防災訓練に外国人市民がどれくらい参加しているか知りたい。もう1つ、出入国在留管理庁がつくっている生活オリエンテーション動画の再生回数を知りたい。」

ヒリストバ委員「防災・災害関連で、ワンストップセンターにどのくらいの問い合わせがあるのか知りたい。ワンストップセンター以外の窓口でもよい。」

楊委員「能登半島地震でどのような課題があったのか知りたい。」

事務局高橋専門調査員「能登半島地震は比較的最近で、まだ報告書のようなかたちで課題の整理がし切れていないかもしれない。少し古いかもしれないが、東日本大震災や熊本地震のものでもよいか。」

楊委員「大丈夫だ。」

張委員「最近、会社の防災訓練で、東京都のそなエリア東京という施設に見学に行った。川崎市には地震が体験できる施設はあるか。」

金委員「ボランティア向けの研修情報などの情報発信は何かあるか。」

イトウ委員「2007年の提言がAになっているが、以前に参加した防災訓練でピクトグラムの活用などが実現できていないと感じた。そうした現状を確認することはできるか。」

事務局高橋専門調査員「ピクトグラムの活用はマニュアルには書かれているが、実際の避難所でどのくらい活用できているかということを確認するのは難しいと思う。というのも、避難所の運営は、行政だけではなく地域の人たちも関わってくる部分なので、地域住民のレベルまで落とし込んで徹底するのはかなり難しい。提言としては、どうしても行政としてできる範囲になってしまふ。」

イトウ委員「Aという評価は市としてできることをやったという理解でよいか。」

事務局高橋専門調査員「そうだ。その上で、それが十分ではないので再提言するといふのは可能だ。」

鎌田委員「消防団に何か特別なプロジェクトがあると聞いたが、それが知りたい。」

事務局高橋専門調査員「おそらく、機能別消防団のことだと思う。外国人の方は消防団員にはなれないのだが、機能別消防団員というものにはなれる。そのことについての資料は用意する。」

楊委員「国際交流協会が主催しているボランティア養成について知りたい。」

張委員「川崎市で津波などの地震以外の災害への取組にはどのようなものがあるのか知りたい。」

単部会長「私からもよい。外国人向けの防災訓練や災害関連の取組があるかどうか知りたい。ほかにあるか。（なし）それでは、時間になったので部会審議はここまでとする。30分から全体会を再開できるように、休憩と移動をお願いする。」

【全体会】

セネ委員長「それでは全体会を再開する。まずは、部会報告だ。部会Aから報告をお願いする。」

アディダヤ部会長「部会長は私、副部会長は鄭さんになった。部会の名前は決まらなかった。審議する順番は、情報発信・周知、子育て・教育、夫婦別姓の順番になった。以上だ。」

セネ委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、続いて部会Bの報告をお願いする。」

単委員「部会長は私で、副部会長は金さんになった。部会の名称は、安心生活に決まった。審議計画は、防災・災害、共生コミュニティの形成、医療の順番に決まった。」

セネ委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）それでは、続いて実行委員会報告だ。まずは、ニューズレター編集委員会の報告をお願いする。」

金委員「今日は、3月末に発行となるニューズレターの内容について話合った。内容としては、外国で人気のある日本の作家について記事にすることにした。また、マイナンバーカードの更新についての注意喚起についても書くことにした。」

セネ委員長「続いて、交流イベント実行委員会の報告をお願いする。」

イトウ委員「今回は、11月17日のフェスティバルですることについて決めた。ブースでは、代表者会議の広報としてSNSをフォローしてくれた人にお菓子などを配ってアピールしたいと思っている。ステージではクイズショーをすることになった。もう1つ、12月7日のかわさき市民祭りでは、国旗描きやクイズをする。それと、みなさんから提供してもらった写真を飾ろうと思っている。フェスティバルと同じように、SNSをフォローしてくれた人へのプレゼントもしたい。その関連で、クイズと写真の提供について、協力をお願いしたい。それと、会議をアピールするためにオリジナルのTシャツをつくらうかと考えている。ぜひ、Tシャツを着てみんなで楽しく盛り上がれたらと思っている。次回の会議が終わったあとに、いろいろと準備をしようと思っているので、残れる人は協力をお願いする。」

セネ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。（なし）以上で、今日の日程は終了だ。次回は11月10日、日曜日、ここ国際交流センターで開催する。これで、2024年度第3回第1日の会議を終わりにする。」